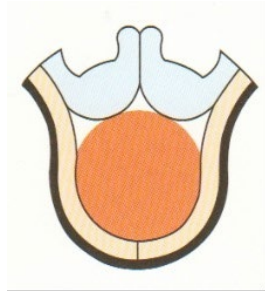


令和7年度

千葉市立第二養護学校





自立活動

活動・教材集


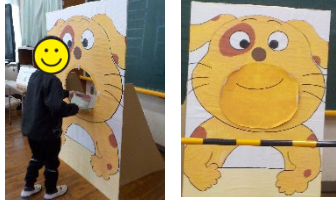


# 心理的な安定 環境の把握



# 自立活動 活動・教材集

教材名	感触マット			
主とする 指導の区分	健康の保持		環境の把握	○
	心理的な安定	○	身体の動き	
	人間関係の形成		コミュニケーション	
ねらい	・いろいろな感触を知り、自分にとっての快不快を見つけることができる。			
使い方			教材等の写真添付	
<p>○感触マット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・足裏をついて歩いたり、四つ這いで進んだりする。</li> </ul> <p>使用した素材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土台となるジョイントマット</li> <li>・プールスティック、スポンジ、Kクレイ粘土</li> <li>・消臭ビーズ、ボディータオル、クッション</li> <li>・ペットボトル、人工芝、ネット、ジェルマット</li> </ul> <p>○キラキラカーテン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーキットのゴールに設置。通り方は自由。</li> </ul> <p>使用した素材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パーティーグッズのキラキラカーテン</li> </ul>			 	
<h2>指導（支援）にあたっての工夫や視点・留意事項</h2>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・快不快に気づきやすいように、マットは刺激が強い物と柔らかい物を交互に置く。</li> <li>・足元に注目できるように、マットの幅の間隔は日ごとに変更する。並びも変更する。</li> <li>・初めて見る物に対して抵抗が強い児童は、手で触って確かめるように促したり、教師が手本を見せて安全なことを伝えたりする。</li> <li>・注目しているマットがあれば、あえて次に進むよう促すことはしない。</li> <li>・見通しをもつことが苦手な児童が多いため、サーキット形式にしたが、慣れてきて「もっとやりたい」という姿が見られるようになった。気持ちの尊重と順番を守るという難しさを解消するため、BGMを活動ごとに分けた。「それもいいね」は教師と一人ずつ。「さんぽ」は一人で自由に取り組んだ。音への注目や、見通しをもつ力に繋がられるようにする。</li> </ul>				

# 自立活動 活動・教材集

<p>活動名</p>	<p>どうぶつレストラン</p>			
<p>主とする 指導の区分</p>	<p>健康の保持</p>		<p>環境の把握</p>	
	<p>心理的な安定</p>		<p>身体の動き</p>	
	<p>人間関係の形成</p>	<p>○</p>	<p>コミュニケーション</p>	<p>○</p>
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順番がきたら自分から活動することができる。</li> <li>・友達とトレーの受け渡しを通して関わるすることができる。</li> </ul>			
<p>活動内容</p>	<p>教材等の写真添付</p>			
<p>○順番の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトボードに顔写真を貼り、活動に取り組む順番を確認する。</li> </ul> <p>○口元の部分がくりぬかれた動物のパネルに、食べ物の模型を入れて食べさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーに好きな食べ物の模型をのせ、コースに沿って進む。</li> <li>・動物のパネルの前に来たら、口の中に模型を入れる。</li> <li>・トレーをボタン代わりにし、コースから戻ってきたら友達に渡す。</li> </ul>	<p>○口元がくりぬかれた動物のパネル</p>  <p>↓活動の終わりは、にこやかな口元のパネルを上から貼り付ける。</p> 			
<p>指導（支援）にあたっての工夫や視点・留意事項</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の顔写真は上から順に貼り、活動が終わった児童の顔写真をはがし、見通しをもてるようにする。</li> <li>・児童の座る位置はトレーを受け渡す順にして、受け渡しがスムーズに行えるようにする。</li> <li>・動物のパネルは児童に馴染みのある絵本のキャラクターを使用し、関心をもてるようにする。</li> <li>・食べ物の模型以外に、児童が好む食べ物の写真を貼り付けた箱を用意し、意欲的に参加できるようにする。</li> <li>・全員が食べ物の模型を入れ終えた後に、くりぬかれた動物の口元を覆うように笑顔になったパネルを貼りつけ、お腹いっぱいになったことを表して活動の終わりをわかりやすくする。</li> </ul>				

# 自立活動 活動・教材集




<p>活動名</p>	<p>位置を知ろう</p>			
<p>主とする 指導の区分</p>	<p>健康の保持</p>		<p>環境の把握</p>	<p>○</p>
	<p>心理的な安定</p>	<p>○</p>	<p>身体の動き</p>	
	<p>人間関係の形成</p>		<p>コミュニケーション</p>	
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前後左右が分かり、指示を聞いて動くことができる。</li> <li>・見比べて同じ位置に置くことができる。</li> </ul>			
<p>活動内容</p>			<p>教材等の写真添付</p>	
<p>○前後左右</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みぎ」「ひだり」「まえ」「うしろ」と平仮名で書いてある正方形のマットを使用する。</li> <li>・児童はマットの中央に立つ。目印として足型を置く。</li> <li>・教師が「みぎ」と指示を出し、児童は右と書いてあるマットに移動する。移動ができたなら「もどる」の指示で中央に移動する。</li> <li>・児童に合わせて指示するスピードを変えて行っている。</li> </ul> <p>○同じ位置に置こう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二つのマス、三つのマスに色の磁石や児童の好きな電車や乗り物のイラストを置き、教師と同じ位置に磁石やイラストを置く。</li> </ul>			 	
<p>指導（支援）にあたっての工夫や視点・留意事項</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字を見て確認しながら正しく移動できるように、「みぎ」「ひだり」などの文字を示し、わかりやすくする。（前後左右がもう少しわかってきたら、文字は無くす。）</li> <li>・楽しく取り組めるように、指示するスピードを変える。</li> <li>・児童が注目して取り組むことができるように、使用するイラストは児童が好きな物を使用する。</li> <li>・見本の置く位置を見比べやすいように工夫して置く。</li> </ul>				

# 自立活動 活動・教材集

<p>教材名</p>	<p>写真カード (A4 サイズ)</p>			
<p>主とする 指導の区分</p>	<p>健康の保持</p>		<p>環境の把握</p>	<p>○</p>
	<p>心理的な安定</p>		<p>身体の動き</p>	
	<p>人間関係の形成</p>		<p>コミュニケーション</p>	<p>○</p>
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真カードと活動をマッチングする</li> <li>・写真カードを使用して、やりたい活動を選択することができる</li> </ul>			
<p>活動内容と教材の使い方</p>			<p>教材等の写真添付</p>	
<p>○ローリングシーソー、ローリングカー、トランポリンの写真カード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が興味・関心がある教材を一つ一つ順番に取り組む。</li> </ul> <p>活動を始める前に教師に、それぞれの写真カードを手渡してから活動を始めます。</p> <p><b>使用した素材</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A4 サイズの大きさの写真カード。</li> </ul> <p>→大きめの写真を用意することで、活動とマッチングしやすくなることをねらいとしている。</p> <p>また、児童が教師にカードを渡しやすくするために大きくしている。</p>			  	
<p>指導（支援）にあたっての工夫や視点・留意事項</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が好きな活動（教材）を3種類用意して、繰り返し取り組む。</li> <li>・PECS（絵カード交換式コミュニケーションシステム）を参考に、指導・支援をする。</li> </ul> <p>①好きな活動と写真カードのマッチング ②写真カードを教師に手渡すことで活動に取り組むことができる経験を積む。</p>				

# 自立活動 活動・教材集

<b>活動名</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プールスティック一本橋</li> <li>・タオルを使ってボール押し</li> </ul>			
<b>主とする 指導の区分</b>	健康の保持	○	環境の把握	
	心理的な安定		身体の動き	○
	人間関係の形成		コミュニケーション	
<b>ねらい</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスをとることができる。</li> <li>・背筋力を使って、姿勢保持することができる。</li> </ul>			

<b>活動内容</b>	<b>教材等の写真添付</b>
<p>○プールスティック一本橋</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半分にカットしたプールスティックを縦に並べ、テープで固定する。</li> <li>・スティックの上を床に足がつかないように歩く。</li> </ul> <p>○タオルを使ってボール押し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マットの上に、うつ伏せになる。</li> <li>・顔を上げ、腕を前方に出して、肘を90度に曲げて手に横に張ったタオルを持った状態で持つ。</li> <li>・前から転がってきたボールを、目で追って目の前に来たら横に張った状態のタオルで押し返す。これを何回か繰り返し行う。</li> </ul>	  

## 指導（支援）にあたっての工夫や視点・留意事項

### 【スポンジスティック一本橋】

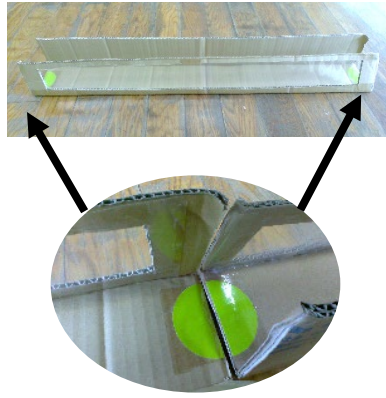
- ・徐々に一人で歩けるよう、慣れるまでは手を添えて不安感がでないようにする。

### 【タオルを使ってボール押し】

- ・ボールを押し出す際は背筋をいえるように反る姿勢をとる。また、肘をつかないようにする。
- ・ボールを押し出す時に、的や箱に当てたり入れたりしやすいように目標物を用意する。

# 人間関係の形成 コミュニケーション

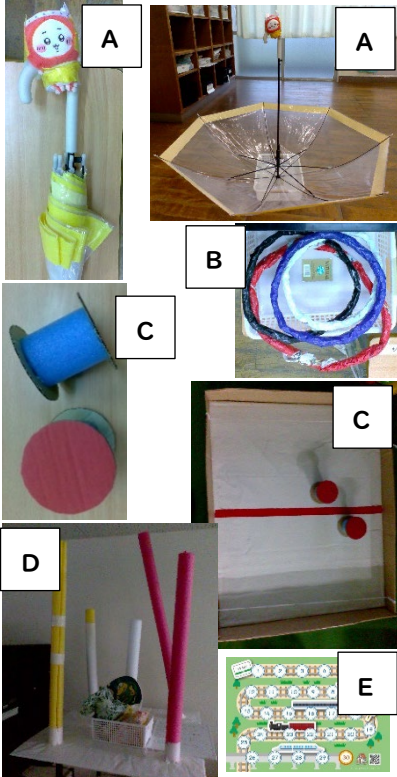
# 自立活動 活動・教材集

<p>活動名</p>	<p>電車をつなげ！</p>			
<p>主とする 指導の区分</p>	<p>健康の保持</p>		<p>環境の把握</p>	
	<p>心理的な安定</p>		<p>身体の動き</p>	
	<p>人間関係の形成</p>	<p>○</p>	<p>コミュニケーション</p>	
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に簡単な遊びに取り組むことができる。</li> <li>・簡単なルールを守ることができる。</li> </ul>			
<p>活動内容</p>			<p>教材等の写真添付</p>	
<p>○活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コの字型のスライダーを一人一つ持って横一列に座り、その上を電動で動く電車を走らせて、最後は車庫に入れる。</li> <li>・二人でつなげることから始めて、三人、四人…と、人数を増やしていく。</li> <li>・電車の他にも、転がる物でアレンジ可能。</li> </ul> <p>○スライダーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長方形の段ボール3枚をコの字型になるようにボンドで固定して作成した。</li> </ul>				
<p>指導（支援）にあたっての工夫や視点・留意事項</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スムーズにスライダーをつなげることができるよう、椅子に座って取り組む。また、スライダーの両端に半円の印を付け、うまくつなげると円が完成することがわかるようにする。慣れてくると、左右にいる友達のスライダーを意識できるようになる。</li> <li>・積極的に取り組めるよう、どの位置のスライダーを持ちたいかを選べるようにする。</li> <li>・見ている児童も興味をもてるよう、スライダーの側面の段ボールを切り抜いて透明のシートを貼る。</li> <li>・電車を手で持って進めようとする姿が見られた場合、次のスライダーにつなげようとする気持ちを尊重し、手で持ってしまうことも認める。電車を手で持って一人でゴールまで進めてしまおうとする児童に対しては、椅子から立ち上がらないように約束する。</li> </ul>				



# 自立活動 活動・教材集

<p><b>活動名</b></p>	<p>冒険をしよう！</p>			
<p><b>主とする 指導の区分</b></p>	<p>健康の保持</p>		<p>環境の把握</p>	
	<p>心理的な安定</p>		<p>身体の動き</p>	
	<p>人間関係の形成</p>	<p>○</p>	<p>コミュニケーション</p>	<p>○</p>
<p><b>ねらい</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力して課題を解決する活動を通して、友達と一緒に取り組む楽しさを味わうことができる。</li> <li>・友達と一緒に力を合わせて障害物を動かし、コースを進むことができる。</li> </ul>			
<p><b>使い方</b></p>			<p><b>教材等の写真添付</b></p>	
<p>○ゴム紐をハンガーラックに付けた、くもの巣くぐり・跨ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴム紐に身体が当たらないようにくぐったり、足を上げて跨いだりする。</li> </ul> <p>使用した素材：ハンガーラック（キャスター付き） ゴム紐 重りのペットボトル</p> <p>○二人で引っ張る車</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車の重量を重くすることで、二人で協力して引っ張ることに必然性をもたせた。</li> </ul> <p>使用した素材：人が乗ることができる車型の玩具 箱を乗せるベニヤ板 リングバトン 紐</p> <p>○鍵のイラスト付き箱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宝箱を開けるための鍵を集めるために、箱に鍵のイラストを貼った。協力して箱を運ぶことに必然性をもたせるため、水を入れたペットボトルを中に固定した。</li> </ul> <p>使用した素材：ボックスタイプの箱 ペットボトル 鍵のイラスト マジックテープ</p>			  	
<p><b>指導（支援）にあたっての工夫や視点・留意事項</b></p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・二人で力を合わせないと課題が解決できない教具を用意し、自分の役割を理解して友達と協力して取り組むことができるようにする。</li> <li>・冒険の雰囲気を楽しむことができるように、車型の玩具にイラストを貼ったり、BGMを流したりする。</li> <li>・くもの巣に見立てることができるように、白いゴム紐を使ってハンガーラックに付ける。</li> </ul>				

# 自立活動 活動・教材集



<p>教材名</p>	<p>ペアでできるミニゲーム4種</p>			
<p>主とする 指導の区分</p>	<p>健康の保持</p>		<p>環境の把握</p>	
	<p>心理的な安定</p>		<p>身体の動き</p>	
	<p>人間関係の形成</p>	<p>○</p>	<p>コミュニケーション</p>	<p>○</p>
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 順番待ちやルール説明を着席して聴く練習を重ねるため4種のゲームを用意。</li> <li>・ 二人の合計点で競い合い、協力することの楽しさを味わう。</li> </ul>			
<p>使い方</p>			<p>教材等の写真添付</p>	
<p>○玉入れと輪投げで使う傘（A）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 傘の柄の部分にぬいぐるみを付けて狙いやすくする。</li> <li>・ 傘の縁の部分に色テープを貼って見えやすくする。</li> <li>・ 透明の傘を使用して、入った物が見えるようにする。</li> <li>・ 玉入れの際は着替えレールにかけて高くして使用する。</li> </ul> <p>○輪投げの輪（B）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新聞紙1. 5枚ずつきつく巻いて大きく入りやすくする。</li> <li>・ 4色（4人いるので）に分けて誰の投げた輪かわかるようにする。（準備・片付けの視覚化）</li> </ul> <p>○ゴムホッケー（C）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心線より相手側に飛ばし、終了時の数で勝敗をつける。</li> <li>・ パックは大きく持ちやすくした。赤と青で見えやすくする。</li> </ul> <p>○うちわゲーム（D）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5本の棒にビニール袋をかけて離れた所からあおいで外す。</li> <li>・ 棒の高さを全て変えて、あおぎ具合を調整するようにする。</li> </ul>				
<p>指導（支援）にあたっての工夫や視点・留意事項</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動線を整理するため、ボードゲーム（うちわとホッケー）の日と傘（輪投げと玉入れ）の日を分ける。</li> <li>・ 本時の内容と、ペアの勝敗をホワイトボードに提示して見通しがもてるようにする。</li> <li>・ ゲームを行う際は、タイマーが鳴ったら終わりという同じルールに統一する。</li> <li>・ 各ペアでポイントカード（E）を用意し、勝ったときやルールを守れたときにシールを貼る。</li> <li>・ 待てたときや勝敗を受け入れられたときなど、望ましい姿は言葉かけで全体共有する。</li> </ul>				

# 自立活動 活動・教材集



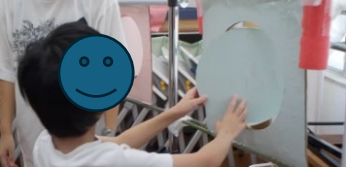

<p>活動名</p>	<p>ともだちに花をもたせよう</p>			
<p>主とする 指導の区分</p>	<p>健康の保持</p>		<p>環境の把握</p>	
	<p>心理的な安定</p>		<p>身体の動き</p>	
	<p>人間関係の形成</p>		<p>コミュニケーション</p>	<p>○</p>
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールを守って、友達と共同遊びを行うことができる。</li> <li>・自分の思い通りにならなくても、我慢することができる。</li> </ul>			
<p>活動内容</p>			<p>教材等の写真添付</p>	
<p>○カードゲーム（勝敗のあるゲーム）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5までの数で七並べを行う。（ルールのあるゲーム）</li> <li>・「3の♦から始める。」や「右回りでカードをだす。」「出したカードの見る。」のルールを設ける。（ルールを守る部分）</li> <li>・トランプは、「office テンプレート」の「オリジナルトランプ」を用いて、児童の顔写真を入れる。（興味付け）</li> <li>・負けた人が片付ける。（勝敗の受け入れ）</li> </ul> <p>○並べてつないで（ドミノ倒し）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「友達とつないで作る。」のルールの設定。（他者との関わりの意識付け）（協力）</li> <li>・倒れても、再度繋いでいくように言葉かけをして、最後まで一緒に取り組めるようにする。（失敗を受け入れる力）（失敗を乗り越える力）（再挑戦）</li> <li>・倒す人は、くじで決める。（受け入れる力）</li> <li>・繋がられた個数の確認。（数量で協力できた度合いをはかる。）</li> </ul>			 	
<p>指導（支援）にあたっての工夫や視点・留意事項</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・物を介して他者との繋がりがもてる教具の選択を行う。</li> <li>・ルールは単純にする。</li> <li>・ドミノ倒しに繰り返し取り組むことで、「失敗を受け入れること」や「乗り越えること」の経験ができるようにする。</li> </ul>				

# 身体の動き





# 自立活動 活動・教材集

教材名	でこぼこ道①、② マットトンネル			
主とする 指導の区分	健康の保持		環境の把握	○
	心理的な安定		身体の動き	○
	人間関係の形成		コミュニケーション	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両足の裏全体を使って踏ん張って歩くことができる。</li> <li>・用具や高さに応じて自分で姿勢を変えて進むことができる。</li> </ul>			
使い方			教材等の写真添付	
<p>○でこぼこ道①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・踏むと沈む柔らかい段ボールでできた道の上を歩くことで、足裏全体を使って身体を支える、踏ん張る感覚を養う。</li> </ul> <p>使用した素材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道の土台となる滑り止めマット</li> <li>・大きさが異なるロール状の段ボール</li> </ul> <p>○でこぼこ道②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚みのある発泡スチロールでできた道の上を歩く。発泡スチロールは可動式で、歩幅に合わせて変更できる。</li> </ul> <p>使用した素材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道の土台となる滑り止めマット</li> <li>・正方形の板状の発泡スチロール</li> </ul> <p>○マットトンネル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フラフープの大きさに応じて、自分から姿勢を低く（高く）するなど、姿勢を変えながら四つ這いで進む。</li> </ul> <p>使用した素材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カラーマット</li> <li>・3種類の大きさが異なるフラフープ</li> </ul>			  	
<h2>指導（支援）にあたっての工夫や視点・留意事項</h2>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・横転や滑り防止のため、教具の裏に滑り止めシートや滑り止めマットを使用する。</li> <li>・足裏全体を地面について踏ん張りながら歩くことができるように、活動は裸足で取り組む。</li> <li>・毎回歩く道に変化が出るように、ロール状の段ボールの配置や高さを変えて順を変えたり、発泡スチロール板を配置する幅(歩幅)を変えたりして難易度を調整できる。</li> <li>・フープの位置もその日によって変更できる。</li> </ul>				

# 自立活動 活動・教材集

活動名		楽しく身体を動かそうサーキット			
主とする 指導の区分	健康の保持		環境の把握	○	
	心理的な安定	(○)	身体の動き	○	
	人間関係の形成		コミュニケーション		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな身体の動きを経験することができる。</li> <li>・手を伸ばして可動域を広げる動きをすることができる。</li> </ul>				
活動内容と教材の使い方			教材等の写真添付		
<p>① プールスティックトンネル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トンネルをくぐる動きでしゃがむ、立つ、前に進む動きを通して、経験を広げる。</li> </ul> <p>使用した素材 牛乳パック・プールスティック・プラ段ボール</p> <p>② 歩行箱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・足をあげる動作や下を見て歩く活動を通して、様々な身体の動きを経験する。</li> </ul> <p>使用した素材 段ボール</p> <p>③ 回転イラスト・再生ボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなイラストや音を再生するために手を伸ばす動きを促す。</li> </ul> <p>使用した素材 ポールハンガー・再生ボタン・段ボール・竹ひご・果物をラミネートしたもの</p> <p>④ 坂道</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・坂道の昇降を通して、身体の重心移動を意識した動きを促す。</li> </ul> <p>使用した素材 クッション坂道・板・ベンチ</p> <p>⑤ トランポリン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動への期待感をもつためのお楽しみの活動。</li> </ul> <p>使用した素材 トランポリン</p>			<p>① </p> <p>② </p> <p>③ </p> <p>④ </p>		
指導（支援）にあたっての工夫や視点・留意事項					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プールスティックトンネルでは長さを調節できるようにし、児童の実態に合わせてトンネルの高さを変えられるようにする。</li> <li>・回転イラストや再生ボタンは、児童の興味があるものを使用し、視線が向くようにする。</li> </ul>					

# 自立活動 活動・教材集

<p><b>活動名</b></p>	<p>いろいろな身体の動かし方を知ろう！</p>			
<p><b>主とする 指導の区分</b></p>	<p>健康の保持</p>		<p>環境の把握</p>	
	<p>心理的な安定</p>		<p>身体の動き</p>	<p>○</p>
	<p>人間関係の形成</p>		<p>コミュニケーション</p>	
<p><b>ねらい</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種目に合った身体の動かし方を知る。</li> <li>・自分から活動に取り組むことができる。</li> </ul>			
<p><b>使い方</b></p>			<p><b>教材等の写真添付</b></p>	
<p>○ハードルまたぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体幹を鍛える、バランス感覚の向上、重心移動、股関節の柔軟性や可動域の向上</li> </ul> <p>○坂道くだり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筋トレ効果</li> </ul> <p>○足上げ（踏み台に片足ずつ、ゆっくり足を乗せる）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バランス感覚の向上、かかとを着ける経験</li> </ul> <p>○トランポリン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体幹を鍛える、バランス感覚の向上、お楽しみ活動の一つとして</li> </ul>			   	
<p><b>指導（支援）にあたっての工夫や視点・留意事項</b></p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・4種目を円周上に並べ、サーキット形式で取り組むようにする。</li> <li>・児童の好きな活動やお楽しみの活動を取り入れ、意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>・ハードルの横に児童机を置いて身体を支えながら行えるようにしたり、坂道くだりの始めに踏み台を置いてステップにしたりして、教師とではなく一人で取り組めるようにする。</li> </ul>				


# 自立活動 活動・教材集

<p>活動名</p>	<p>楽しく身体を動かそう！</p>			
<p>主とする 指導の区分</p>	<p>健康の保持</p>		<p>環境の把握</p>	
	<p>心理的な安定</p>		<p>身体の動き</p>	<p>○</p>
	<p>人間関係の形成</p>		<p>コミュニケーション</p>	
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・膝を曲げて物を拾うことができる。</li> <li>・不安定な場所でも姿勢を保持して歩くことができる。</li> </ul>			
<p>教材の使い方</p>			<p>教材等の写真添付</p>	
<p>○カード拾い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・床に広げたカードをしゃがんで拾い、かごにカードを入れる。 ※かご…児童が手を伸ばしてカードを入れられる高さ。</li> </ul> <p>使用した教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が好きなものやキャラクターの写真を A5 サイズにしてダンボールに付けたカード。</li> </ul> <p>○箱運び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・椅子に座った状態で、2リットルペットボトルに水を入れたものを拾って、机に置く。</li> </ul> <p>使用した素材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が好きな食べ物のイラストを貼り付けた、水入りのペットボトル。</li> </ul> <p>○バランスビーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クッション性のあるバランスビームに足形のイラストを付けて、足の向きを意識して歩く。</li> </ul>				
<p>指導（支援）にあたっての工夫や視点・留意事項</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の三つ以外にも様々な身体の動かし方ができるような教材を用意し、サーキット運動に繰り返し取り組む。</li> <li>・膝を曲げてしゃがむことができるよう、背中側から腰を垂直に下すように支援する。</li> <li>・つま先が真っすぐ向くように足形を置いて、必要に応じて足元や手を支える支援を行う。</li> </ul>				

# 自立活動 教材集

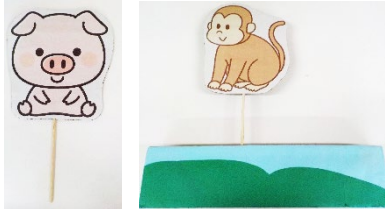

<p>教材名</p>	<p>もぎもぎフルーツ</p>			
<p>主とする 指導の区分</p>	<p>健康の保持</p>		<p>環境の把握</p>	<p>○</p>
	<p>心理的な安定</p>		<p>身体の動き</p>	<p>○</p>
	<p>人間関係の形成</p>		<p>コミュニケーション</p>	
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上にある物を見ながら、手を伸ばして物を取ることができる。</li> <li>・道具を使って、具体物を操作することができる。</li> </ul>			
<p>使い方</p>			<p>教材等の写真添付</p>	
<p>○天井から吊るした果物のボード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上を見て、ボードを引っ張り、背筋が伸びるようにする。</li> <li>・手を伸ばしてギリギリ届くようにし、上体を起こして引っ張られるようにする。</li> </ul> <p>使用した素材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・段ボールに描いた果物のイラスト</li> <li>・大きめのダブルクリップ</li> <li>・スズランテープ</li> </ul> <p>○道具を使って具体物を操作する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ tong を使い、立体の物を取る。</li> <li>・道具の操作性を身に付ける。</li> </ul> <p>使用した素材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェルトで作った綿入りの果物</li> <li>・ tong</li> <li>・磁石</li> </ul>			 	
<p>指導（支援）にあたっての工夫や視点・留意事項</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しみながら取り組めるように、果物をモチーフにしたボードを使って活動する。</li> <li>・手を上に挙げた状態よりも、少し高い位置にボードをぶら下げ、自分から意欲的に手を伸ばせるようにする。</li> <li>・軽い力で外れるクリップを使用し、力を使わずに上を見たり、背筋を伸ばしたりするといった上体を起こす動きに重点を置けるようにする。</li> </ul>				

# 自立活動 活動・教材集

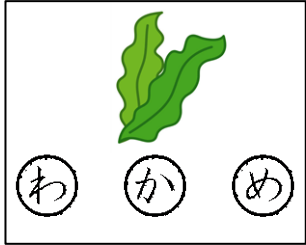
<p><b>教材名</b></p>	<p>センサリーマット</p>			
<p><b>主とする 指導の区分</b></p>	<p>健康の保持</p>		<p>環境の把握</p>	
	<p>心理的な安定</p>	<p>○</p>	<p>身体の動き</p>	<p>○</p>
	<p>人間関係の形成</p>		<p>コミュニケーション</p>	
<p><b>ねらい</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感覚刺激を体験し、好きな感覚や落ち着く感覚を見つける。</li> <li>・様々な感覚に触れる経験を通して、姿勢やバランスの調整を促す。</li> </ul>			
<p><b>使い方</b></p>			<p><b>教材等の写真添付</b></p>	
<p>○素材を貼り付けたジョイントマット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素材の上を歩いたり、触れたりして様々な感覚に触れる。</li> </ul> <p><b>使用した素材</b>：土台となるジョイントマット          緩衝材・スポンジ・卵パック          人工芝・スポンジボール</p> <p>○ウォーターマット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーターマットの上を歩いたり、触れたりして感覚を楽しみ、バランス感覚を養う。</li> </ul> <p><b>使用した素材</b>・布団圧縮袋 ・水 ・ビーズ</p> <p>○風船マット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・反発性のあるでこぼこした風船マットの上で活動することで、バランス感覚を養う。</li> </ul> <p><b>使用した素材</b>・布団圧縮袋 ・風船</p>				
<p><b>指導（支援）にあたっての工夫や視点・留意事項</b></p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3種類のマットを作る工程を児童と取り組み、使用する教具に関心をもてるようにする。</li> <li>・センサリーマットの上を児童と手をつないで歩くときは、握った手を児童の肩の高さよりも低くして、児童が自分でバランスをとる意識をもてるようにする。</li> <li>・主体的な姿や興味関心の幅を広げるため、苦手な素材があったときは、無理に触れさせたり慣れさせようとせず、見守るようにする。</li> </ul>				

コミュニケーション  
(発声・発語)

# 自立活動 活動・教材集

<p>教材名</p>	<p>鳴きまねペープサート</p>			
<p>主とする 指導の区分</p>	<p>健康の保持</p>		<p>環境の把握</p>	
	<p>心理的な安定</p>		<p>身体の動き</p>	
	<p>人間関係の形成</p>		<p>コミュニケーション</p>	<p>○</p>
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平仮名一音を、大きくはっきりと口を開けて発声することができる。</li> <li>・楽しい気持ちで、自分から声を出すことができる。</li> </ul>			
<p>使い方</p>			<p>教材等の写真添付</p>	
<p>○ペープサート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表面が動物のイラスト、裏面が黒塗りのシルエットになっている。手遊び歌「おはなし指さん」のメロディーに合わせて歌いながら動かす。使用後はペープサートを台に指す。</li> </ul> <p>(例) 裏面を見せて</p> <p>「♪この影ブタ、ブーブブタ」</p> <p>表面を見せて</p> <p>「♪ブーブーブーブーブブブブブブブ、 おはなしする」</p> <p>→豚 . . . 「ブー」</p> <p>→鳥 . . . 「カー」</p> <p>→猿 . . . 「キー」</p> <p>→鳩 . . . 「ポッ」</p>			 	
<p>指導（支援）にあたっての工夫や視点・留意事項</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの中に手遊び歌が好きな児童が多いことから、楽しんで模倣したり発音したりできるように替え歌にした。また、鳴きまねに取り組んだ動物を野原の台に差すようにし、野原に動物が集まってきたようなイメージをもつことができるようにした。</li> <li>・教師が対面で大きくはっきりと口を動かすことで、口形を模倣したり音をはっきり聞き取りやすいようにした。また、隣で鏡を一緒に見て、教師の口形と自分の口形を見比べることができるようにした。</li> </ul>				


# 自立活動 活動・教材集

<p>活動名</p>	<p>発声練習</p>			
<p>主とする 指導の区分</p>	<p>健康の保持</p>		<p>環境の把握</p>	
	<p>心理的な安定</p>		<p>身体の動き</p>	
	<p>人間関係の形成</p>		<p>コミュニケーション</p>	<p>○</p>
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カードを見て、一音ずつ意識して発声することができる。</li> <li>・正しく発声することができる。</li> </ul>			
<p>活動内容</p>			<p>教材等の写真添付</p>	
<p>○イラストと文字が入ったカード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて聞くような言葉や児童が興味のある物など色々な言葉を題材にしたカードを作成する。何文字で構成されているかがわかりやすいように、一文字ずつ○で囲む。</li> <li>・カードを見せ、一文字ずつ手を叩いて、取り組む。</li> </ul> <p>使用した素材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A4 サイズでイラストと文字を大きくする。</li> <li>→児童が注視したり、発声したりしやすくすることがねらい。</li> </ul>				
<p>指導（支援）にあたっての工夫や視点・留意事項</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初は文字や発声することを意識してほしいことから、あえて聞きなじみのなさそうな言葉を選んで取り組む。</li> <li>・教師の言葉や児童が自分の声を聞き取りやすいように、マイクを使用して取り組む。</li> <li>・文字数を意識できるよう、一文字ずつ手を叩いたり、児童の肩を叩いたりして支援をする。</li> </ul>				

# 自立活動 活動・教材集

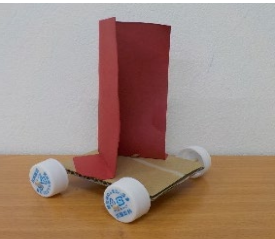


<p>活動名</p>	<p>まねっこ遊びをしよう</p>			
<p>主とする 指導の区分</p>	<p>健康の保持</p>		<p>環境の把握</p>	
	<p>心理的な安定</p>		<p>身体の動き</p>	
	<p>人間関係の形成</p>		<p>コミュニケーション</p>	<p>○</p>
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舌や顔の筋肉を使った口の動きができる。</li> <li>・発音することができる音を増やすことができる。</li> </ul>			
<p>使い方</p>			<p>教材等の写真添付</p>	
<p>○吹き戻し笛</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しく息を吹き出せているかが視覚的にわかり、伸びたり縮んだりする様を楽しむことができる。</li> <li>・強く吹ければ大きな音が出るため、吹き出す息の量が聴覚的にわかる。</li> </ul> <p>○動物ルーレット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ギガタブで利用できる簡易なルーレットを利用し、鳴き声を真似しやすい動物を選んで作成する。</li> <li>・発表者は、ボタンを押して当たった動物のまねっこを披露する。</li> </ul>				
<p>指導（支援）にあたっての工夫や視点・留意事項</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊び感覚でできる活動を数種類用意して、何度も取り組む。</li> <li>・息を吹くだけでは、単調で飽きてしまう活動になってしまうので、色や動きが派手で大きな音になる教具を使用する。</li> <li>・画面に映るものへの興味が深い児童が多いため、自分でボタンを押したり、何が出るのかわからないドキドキ感のある活動を用意したりして、意欲的に取り組めるようにする。固定のものに縛られず、様々な種類に挑戦できるので、他の物への代用も容易にすることが可能。</li> </ul>				

# 自立活動 活動・教材集

<p>活動名</p>	<p>ふーっ！</p>			
<p>主とする 指導の区分</p>	<p>健康の保持</p>		<p>環境の把握</p>	
	<p>心理的な安定</p>		<p>身体の動き</p>	<p>○</p>
	<p>人間関係の形成</p>		<p>コミュニケーション</p>	<p>○</p>
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声を促すための機能を高める。</li> <li>・声を出す楽しさに気付くことができる。</li> </ul>			
<p>教材の使い方</p>			<p>教材等の写真添付</p>	
<p>○膨らましおばけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストローを通して息を吹き続け、おばけを膨らませる。</li> <li>・口をすぼめて力を入れたり、頬に空気を溜めたりして口回りの筋肉を鍛える。</li> </ul> <p>使用した素材 ストロー、傘袋</p> <p>○笛</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・息を吐いて鳴った音を聞く。</li> <li>・息の吐く強さを調節したり、吐くリズムを変えたりすることで様々な息の吐き方を知る。</li> </ul> <p>○発声器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声を出すことでビーズが動くことを楽しむ。</li> <li>・高い声や低い声によってビーズの動きが変わることを楽しむ。</li> <li>・大きな声を出すことに慣れる。</li> </ul> <p>使用した素材 紙コップ、細かいビーズ、プラカップ（蓋部分）</p>			  	
<p>指導（支援）にあたっての工夫や視点・留意事項</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に飽きずに楽しんで取り組めるように、様々な教材を週ごとに換えながら行う。</li> <li>・上記の教材以外にも、ストローを舌の上に載せて維持する活動や、マイクを使った発声の活動を行う。</li> </ul>				

# 自立活動 活動集


活動名	声を出そう！			
主とする 指導の区分	健康の保持		環境の把握	○
	心理的な安定	○	身体の動き	
	人間関係の形成	○	コミュニケーション	○
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長く大きな声を出すことができる。</li> <li>・発声につながる息づかいの練習をすることができる。</li> </ul>			

活動内容と教材の使い方	教材等の写真添付
<p>① ゴーゴーマシン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マシンの帆に息を吹きかけ、進ませる。</li> <li>・長く息を吹くことで、距離が延びる仕様になっている。</li> </ul> <p>② おどるへび</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2個の紙コップを組み合わせたもの。</li> <li>・紙コップに口を当て、大きな声や高い声を出す。</li> <li>・出した声の振動で、紙コップに乗せたへび型のモールドが回る。</li> </ul> <p>③ べろべろがえる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「吹き戻し」を蛙のデザインにしたもの。</li> <li>・ストローに息を吹いたり、吸ったりすることで蛙の舌が伸び縮みする。</li> </ul>	  

## 指導（支援）にあたっての工夫や視点・留意事項

- ① マシンの素材を、軽くする。
- ① 帆の中心にシールを貼り、息を吹きかける箇所をわかりやすくする。
- ① 距離を競い合い、児童の意欲向上につなげる。
- ② 紙コップのサイズと組み立て方を工夫し、へびの動いている様子がわかるようにする。
- ② 紙コップに蓋をして、へび型のモールドが落ちないようにする。
- ③ 吹き戻しのデザインを、蛙の舌にして、友達と見せ合いながら取り組めるようにする。
- ③ ストローの長さや太さを調整する。

# 自立活動 活動・教材集

活動名	いっぱい話そう			
主とする 指導の区分	健康の保持		環境の把握	
	心理的な安定		身体の動き	
	人間関係の形成		コミュニケーション	○
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いを言葉で伝えられるようにする。</li> <li>・聞いたことを理解して行動に移す。</li> </ul>			
活動内容と使い方			教材等の写真添付	
<p><u>集音器（牛乳パックで作成）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受話器のように持ち、口元から耳を覆い、自分の発声や発音を聞くための道具。</li> <li>・教師が電話をかける真似をして、児童が受話器を取って答えるというやり取りを行う。</li> <li>・より聞き取りやすくしたいときは、両耳に当てると、音が集約される。</li> </ul> <p><u>声出し確認装置（紙コップとビーズで作成）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横の紙コップに口をあて、大きな声を出すことによって、透明なコップの底が震え、中のビーズが跳ね上がる様子を自身の目で確認することができる道具。</li> <li>・音量が少ないと、ビーズが飛び跳ねないので、より大きな声を出すことがねらえる。</li> <li>・跳ねる様子を楽しみに、何度も挑戦したり、大きな声を出そうとしたりする様子が見られた。声を出したいという意欲喚起につながる。</li> </ul>				
指導（支援）にあたっての工夫や視点・留意事項				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・これらの道具を使って、声を出したり話したりすることの楽しさを味わいながら、「よく聞く。」「聞いたことにこたえる。」「聞いたことを実行する。」といった言葉を介したコミュニケーションの授業を構成する。</li> <li>・自分から伝えようとする力や人と話す楽しいといった経験を積むためのスタートと捉える。</li> </ul>				